

大問

問一

- ①精緻 ②補償 ③畏怖 ④比喻（または譬喩） ⑤潔癖

問二

- 〔A〕食人（またはアントロポファジー）等
〔B〕吐人（またはアントロポエミー）等

問三

【出題意図】筆者が何を「文化的変容」とみなしているかを文章の全体から読み取り、説明できるかを評価する。

問四

【出題意図】レヴィ＝ストロースの言説をふまえて「それ」「ふたたび」「価値観の物差し」が何を指しているかを理解し、傍線部を説明できるかを評価する。

問五

〔一〕【出題意図】傍線部に至るまでの西洋・東洋の医学に関する議論をふまえて、当該部分を近代・西洋との関連から説明できるかを評価する。

〔二〕【出題意図】「ぼくらのまま」という表現から、筆者が示唆していることを説明できるかを評価する。

問六

【出題意図】文章の全体をふまえて、筆者の病気、身体、健康に対する見解を簡潔にまとめることができるかを評価する。

大問二

問一

④

問二

〔一〕【出題意図】上下関係のある環境において男性のみが使用するわけではない事例を読み取れているかを評価する。

〔二〕【出題意図】現代の敬語の機能の変化と、新敬語の出現との関連性を指摘する筆者の考察を捉えられているかを評価する。

問三

【出題意図】丁寧さ、境界化などといった観点から両者の相違点を読み取れているかを評価する。

問四

【出題意図】翻訳の二つの作用と、異化によって意味付けられる点を読み取れているかを評価する。

問五

【出題意図】異化、同化の作用を踏まえたうえで、各言語の非対称性を指摘する筆者の考察を読み取れているかを評価する。

大問三

問一

- ①それは面白くないにちがいないのである。等
- ②どこがどうとは言えないが、すばらしく優美なものである。等
- ③それでもやはりずっと物思いに耽っている様子ははっきりとしているのである。等

問二

【出題意図】本文から筆者の考えを適切に読み取り、要約できているかを評価する。
特に、「まことにわたりかねたる風情」、「雲も渡りかぬるかと思ふ心」とはどういうことかについて、わかりやすく説明できているかを評価する。

問三

雪に跡なき

問四

エ